

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団発行
週刊ニュース

2008.3.5号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)

電話 671-3032 FAX 641-7100

E-mail: info@jcp-yokohama.com

http://www.jcp-yokohama.com/

横浜市妊婦健診公費負担 3回→5回

一方、東京の20区では14回、茅ヶ崎市でも8回

晩産化やさまざまなストレスの増加などにより、危険の多い“ハイリスク妊婦”が増えているといわれています。また、「貧困と格差」の広がりによって、経済的理由から健診を控える妊婦も増えており、健診を受けずにいきなり出産時に病院に飛び込む“飛び込み出産”が社会問題になっています。

厚生労働省が通知(07年1月)

「妊婦健康診査の公費負担は、14回程度行われることが望ましい」

「財政厳しい折、…最低限必要な健診の時期及び内容については、少なくとも5回と考えられることから、…5回程度の公費負担を実施することが原則」

各市町村で公費負担の妊婦健診の回数増加

厚労省の通知を受けて、各市町村では新年度予算で公費負担の妊婦健診の回数を増加させています。ところが、横浜市を含む多くのところでは最低限の5回です。

一方、東京都23区のうち20区では、国が「望ましい」としている14回に増やします。仙台市でも10回に増やします。県内でも、茅ヶ崎市が8回に、鎌倉市も7回に増やします。

横浜は1回4700円×5回、

これではぜんぜん足りません

妊婦健診の1回当たりの費用は、自由診療のために医療機関や検査内容によって異なりますが、大体4000円から1万円程度(横浜市担当局長答弁)。ところが、横浜市では1回4700円で5回のみです。これではぜんぜん足りません。

神奈川県各市の公費負担による妊婦健診回数

	07年度	08年度	
横浜市	3回	5回	各回4700円
川崎市	2回	5回	1回目8000円、2～4回4000円、5回目6000円
横須賀市	2回	5回	
平塚市	2回	5回	2回目まで無料、3～5回10000円
鎌倉市	4回	7回	4回まで無料
藤沢市	2回	5回	
小田原市	2回	5回	自己負担なし
茅ヶ崎市	2回	8回	
逗子市	2回	5回	自己負担なし
相模原市	2回	5回	指定項目を無料
三浦市	2回	5回	自己負担なし
秦野市	2回	5回	
厚木市	5回	5回	指定項目を無料
大和市	2回	5回	
伊勢原市	2回	6回	
海老名市	2回	5回	
座間市	2回	5回	自己負担なし
南足柄市	2回	5回	
綾瀬市	2回	5回	

(08年度予算案より、日本共産党神奈川県委員会調べ)

県内各市では自己負担なしや市の指定項目であれば無料というところがあり、仙台市では1回目1万8000円、2回以降4000～5000円です。

もっと妊婦の負担軽減を!

日本共産党の関議員は現在開催中の予算特別委員会で、妊婦の負担軽減を図るために、妊婦健康診査の1回あたりの補助額を引き上げるよう強く要求しました。